

森や海を大切に

南こうせつさんらがトーク&ライブ

歌手の南こうせつさんや作家のC・W・ニコルさんらによるチャリティートークとライブ「森よ、川よ、海よ、甦(よみがえ)れ！」が二十一日夜、須崎市新町二丁目の市民文化会館で開かれた。

同市浦ノ内の旧県立横浪こどもの森に京都大と高知大が共同で開設する「横浪林海実験所」を支援しようと、アウトドアライターの天野礼子さんが南さんらに呼び掛けて実現。同市など八市町村とJAなどでつくる実行委員会(委員長・笹岡豊徳須崎市長)が主催し、約七百人が集まった。

須崎市 観客と一緒に熱唱も

チャリティートークでは天野さんが進行役を務め、環境問題への考え方などを質問。ニコルさんは「いい海が欲しかったらしい山と森がないと駄目。このままだと日本のすしはクラゲだけになるよ」と警告。南さんは「GNPで一番が偉いとか、(国連の)常任理事国に入ったら優れているというのではなく、日本は自然を愛し人を愛し平和を愛する国のトップランナーになってほしい」と語った。

後半のライブでは南さんが約一時間半、「妹」や「神田川」などを披露。最後は、南さん作曲で天野さんが作詞をした「川よ、甦れ！」を観客と一緒に熱唱した。

入場料の収益は五十万円以上になる見込みで、同実験所の維持費に役立てる。